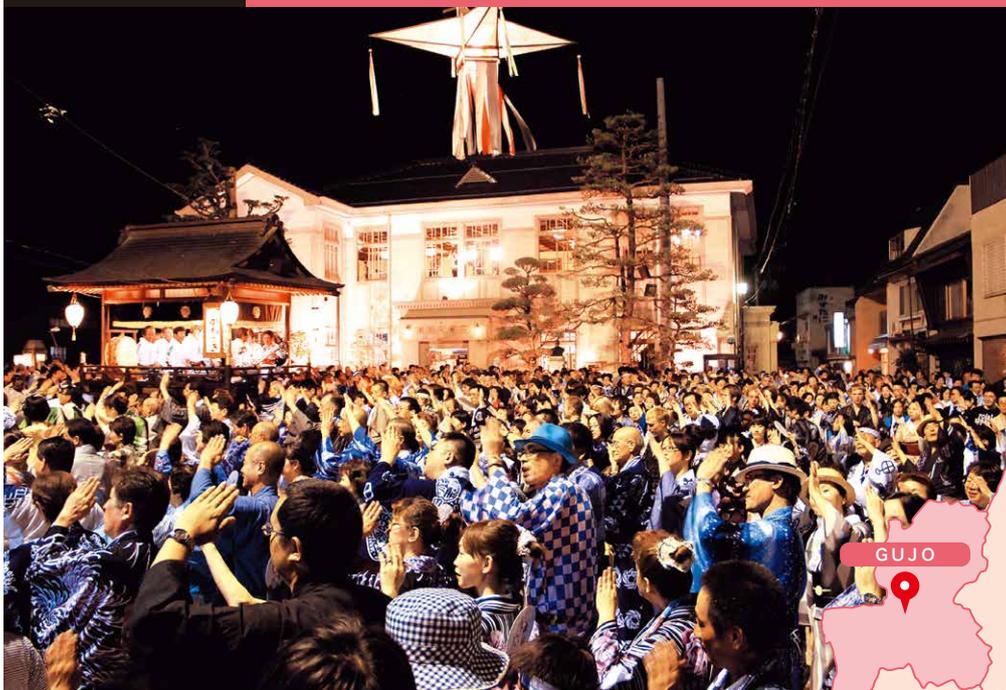


中経連

7・8
2024 July・August
Vol.372

未来につなぐ
地域の文化

郡上おどり



郡上おどりは、阿波おどり(徳島)、西馬音内盆おどり(秋田)と併せて日本三大盆踊りとされる。

千字
万感

国立大学法人静岡大学
学長
日誌 一幸

特集

開設5周年記念
ナゴヤ イノベーターズ ガレージ

- 提言書 次期エネルギー基本計画策定に対する提言
- 中部の魅力語る なでしこの会 イベント
- 中経連会員コラム「コーヒーブレイク」
井村屋グループ株式会社 代表取締役会長(CEO) 中島 伸子

CONTENTS

- 1 千字万感
国立大学法人静岡大学 学長 日詰 一幸
- 2 提言書 次期エネルギー基本計画策定に対する提言
- 4 特集 開設5周年記念
ナゴヤ イノベーターズ ガレージ
- 7 Garage Nagoya Topics
- 9 中部の魅力を語る なでしこの会 イベント
- 10 委員会活動 / 中経連ダイジェスト
- 12 中部圏デジタルスキル習得講座
- 13 中経連会員コラム「コーヒーブレイク」
井村屋グループ(株) 代表取締役会長(CEO) 中島 伸子
- 14 新入会員紹介
デロイト トーマツ リスクアドバイザー(同) / 愛知県信用農業協同組合連合会
- 16 中部圏の景況感の現状と見通し
- 20 セントレア(中部国際空港)からのご案内
国際ネットワーク 運航スケジュール / セントレア利用促進キャンペーン

表紙 | 未来につなぐ地域の文化

郡上おどり 岐阜県郡上市八幡地区

「郡上おどり」の魅力は、地元の人から観光客、子どもから大人まで、誰でも気軽に輪の中に入り、手や足を動かしているうちに踊れるようになることです。「郡上の夏はおどりに始まり、おどりに終わる」と云われ、7月中旬から9月上旬の間、あちこちの縁日・祭りに因んだ一夜一会場で30夜以上開催します。踊りの種類は全10曲・10通りにのぼり、屋形の上から演奏される三味線・太鼓・笛・唄ばやしに、参加者は返し言葉や掛け声、下駄を鳴らす音などで応えながら踊ります。その内の4日間、20時から翌朝5時まで踊り明かす「徹夜おどり(盂蘭盆会)」は、郡上おどりのハイライトです。また、白山信仰にルーツを持ち、同地・同期間に開催する「白鳥おどり」はテンポが速く軽快で、別名「白鳥マンボ」と呼ばれ、若い世代から人気を集めています。

江戸時代から約400年以上続き、慰霊や供養という宗教的要素を持ちつつも多様な人々の交流・娯楽の場として受け継がれた「郡上踊」は、2022年に「寒水の掛踊(同市明宝地区)」とともにユネスコ無形文化遺産に登録されました。

この夏、自然と江戸の情緒あふれる城下町、郡上市で日本を代表する行事を体験してみたいかをご紹介します。2024年は7月13日(土)から9月7日(土)、「徹夜おどり」は8月13日(火)から16日(金)に開催。



写真提供・参照:(一社)郡上市観光連盟、HP「TABITABI郡上」

白鳥おどりの様子



国立大学法人静岡大学 学 長 日 誌 一 幸

大学における教育研究の成果を社会に発信する手段の一つに「広報」があります。

静岡大学でも広報担当部署を設け、広報誌「SUCCESS(サクセス)」を年2回(春・秋)発行しています。同誌は、2009年5月の本学創立60周年を記念し、それまで発行していた「静大フォーラム」から装いを新たに始めました。毎回、約2万部を発行し、在学生の保護者や本学関係者、本学への寄附者、静岡県内の高等学校を中心とした皆様へ送付するとともに、本学のオープンキャンパスなどでも配布しています。

2024年春に発行した同誌31号では、本学で取り組むフィールドワークのほか、企業と大学を結ぶイノベーション社会連携推進機構の活動や本学教員の最先端の研究成果、卒業生の活躍、在学生の活動などを紹介することで、“静岡大学の今”を発信しました。

本学は地方国立大学の一つとして、2024年に75周年を迎えました。これまでの優れた教育研究成果を、静岡県内だけに留まらず、東海地域や日本、世界を視野に入れて発信してきました。今後、日本の18歳人口が減少し、高等教育機関も淘汰される時代になることが予想される中で、大学が生き残っていくためには、本学の強みや特色をわかりやすく伝え、社会の注目を集めることが大切です。このことから、大学から発信する「情報」は極めて重要な位置を占めることになります。

本学における教育研究成果を社会に伝える媒体は、広報誌のほかには本学と教員個人のウェブサイトなどもあります。とりわけ本学のウェブサイトは、2022年4月にリニューアルを行い、情報の入手が容易になったほか、広報誌では常に誌面の刷新に力を入れています。本学に医学部はありませんが、文系・理系学部を擁する総合大学として進める高度な研究内容が社会に与える影響や可能性を発信することは大切なことです。さまざまな情報媒体を通じ、本学の教育研究成果を発信することで、国内外の学生や研究者の関心を惹きつけられるようになることが、望ましいと考えています。

近年、情報通信技術は高度に発達し、そこに人工知能(AI)も加わることにより、これまで想像もできなかったようなイノベーションが起こる可能性があります。この潮流を受け、「広報」のあり方も大きく変化していくことが見込まれるため、大学広報のあり方も進化しなければなりません。本学はよく「広報下手」と言われることがあります。そのような世評を返上するためにも、社会に伝えたいことを効果的に発信する手段と方法を求めて、たゆまぬ努力を続けていきたいと思えます。

次期エネルギー基本計画策定に対する提言

中経連は、エネルギー・環境委員会（委員長：勝野副会長）において、提言書「次期エネルギー基本計画策定に対する提言」（以下、本提言書）を取りまとめた。

1. 策定の経緯

昨今、脱炭素化の潮流による上流資源開発の減退やロシアによるウクライナ侵攻によってエネルギー価格が高騰するなど、エネルギー安全保障の重要性が高まっている。また、世界各国において脱炭素の取り組みの強化も始まり、わが国ではGX（グリーントランスフォーメーション）推進戦略が策定されるなど、産業競争力の強化、経済成長および温室効果ガス排出削減の同時実現に向けて動き出した。その中で見直される次期エネルギー基本計画では、脱炭素に向けたトランジション技術も活用しながら、CN（カーボンニュートラル）実現と経済成長の両立可能な計画とすべきであり、本提言書は、それらを踏まえ取りまとめた。

2. エネルギー政策に対する提言

エネルギー政策に対する基本的な考え方

「S+3E※」を確保できる実現性のある計画策定

経済安全保障、経済成長を実現するためには、脱炭素化された経済的なエネルギー供給によって国内産業の海外流出を防止することが重要。また、「ものづくり自給率」を向上させることで国内産業の活性化を図り、産業競争力を強化することも重要であり、エネルギー政策の基本方針である「S+3E」の同時達成は重要性を増しており、これを実現可能なエネルギー基本計画の策定が必要。

※安全性(Safety)、安定供給(Energy security)、経済効率性(Economic efficiency)、環境適合性(Environmental suitability)

社会システムの変容を促す政策

エネルギー供給面では「大規模集中型システム」と「自立分散型システム」を併用したエネルギー供給が必要。また、「サーキュラーエコノミー(循環経済システム)」とともに「ネイチャーポジティブ(自然再興)」の取り組みも推進するなど社会システムの変容を促進する政策が必要。

エネルギー基本計画の見直しに向けた提言

原子力発電の最大限の活用

国内の既存原子力発電所の再稼働に加え、新增設・リプレースに向けた取り組みが必要。将来的には原子力エネルギーによる水素製造などの多様な用途も含めて、最大限の利活用を進めるべき。

フロントからバックエンドプロセスまで国による一貫した原子力制度措置

電力システム改革の下、建設や運転、廃炉といった100年以上の長期にわたる原子力事業の予見性を高める必要があり、国による一貫した長期的な原子力政策とその実現に向けた制度措置や体制に見直すべき。また、国民からの原子力発電に対する信頼回復にも継続して取り組むことが必要。

火力発電の確保とトランジションの推進

石炭のガス化や水素・アンモニアなどへの燃料転換に加えて、二酸化炭素回収・貯蔵技術を活用することが必要であり、これらの技術開発を促進するためにもトランジション期における火力発電の位置付けをエネルギー政策の中で明確にすることが重要。

化石燃料の柔軟かつ安定、安価な調達

燃料の価格高騰や地政学的リスクに伴う調達リスクを考慮し、適切な火力ポートフォリオを構築するためには、燃料調達面において、硬直性の高いLNG(液化天然ガス)と柔軟性がある石炭との組み合わせが不可欠。

水素やアンモニア、e-methane(合成メタン)、e-fuel(合成燃料)などの脱炭素燃料への転換を促す政策

化石燃料から脱炭素燃料への転換を促すためには、サプライチェーンの構築などの普及支援策が必要。また、需要側への支援やセカンドムーバー以降を支える政策についても検討が必要。

再生可能エネルギー導入と次世代技術の研究開発、実証・実装の推進

再生可能エネルギーのさらなる導入に向けては、導入ポテンシャルとして期待される次世代太陽光発電や浮体式を含む洋上風力発電などの活用が不可欠であり、これらの研究開発から実証・実装に至るまでの支援が必要。

再生可能エネルギー導入拡大に向けた電力ネットワークの強化

地内系統および連系線の強化に加え、洋上風力や太陽光など年間稼働率が低位な電源については、将来の需給予測を確実に実施し、電源過剰地帯に電力負荷を誘導するなど、効率的な送電システムの構築、運用により再生可能エネルギーの大量導入に備えることが必要。

省エネの推進、効率的なエネルギー利用による脱炭素化

脱炭素社会の実現を目指す上では革新的技術に加え、段階的に脱炭素を実現するトランジション技術の活用が必要。また、需要設備の電化のほか、半導体工場やデータセンターの建設など局所的かつ大幅な電力需要の増加に対しては、国がこれを前提とした電力需給の見通しを立て、革新的省エネによる電力使用効率の向上や自立分散型エネルギーを活用したエネルギーシステム全体の効率化について検討することが不可欠。

各部門における具体策

<産業部門>

・e-methaneやe-fuelに関する制度・ルール化の検討および導入拡大に向けた需要側の設備投資などの支援

<家庭・業務部門>

・再生可能エネルギー熱利用技術やDR(デマンド・レスポンス)を活用した効率的なエネルギー利用の促進

<運輸部門>

・HEV(ハイブリッド車)など、技術開発状況やコストに応じた技術の活用
・充電インフラ設備や水素ステーションなどの設置

3. カーボンニュートラルと経済成長の両立に向けた提言

脱炭素技術の社会実装の推進

他事業者・他業種との共同開発・調達、設備の共同保有・運営、知見・成果の共有など、企業間・地域内での連携やサプライチェーンの構築を促す政策が必要。脱炭素技術の社会実装にあたっては、世界の市場の獲得に向けた国際規格・国際標準を獲得するなど、技術・ビジネスの両面で勝つ政策が必要。

脱炭素技術の国内サプライチェーンの構築

国富の流出を防止するためにも、トランジション技術を含む脱炭素技術の国内サプライチェーンの構築を図り、脱炭素・産業競争力の強化・経済成長を同時達成するための政策を検討することが必要。

新たな価値を創出するデジタル技術の活用

実世界(フィジカル層)とネット空間(サイバー層)を連携・融合するなど、デジタル技術を活用した新たな価値の創出を促す政策が必要。

インフラ設備・システムのサイバーセキュリティ強化

大規模集中型と自立分散型システムの併用、DRの活用など、多様なエネルギーリソースを活用したネットワークの形成にはデジタル技術が不可欠であり、サイバーセキュリティの強化が必要。

国民各層とのコミュニケーションの充実

GXとDX(デジタルトランスフォーメーション)を同時進行させ、新しい価値を創出することが、「安全」「安心」で「豊かな」社会の形成や暮らしの提供につながるることについて、具体的かつ分かりやすく、将来ビジョンで提示することが必要。

お問い合わせ先: 社会実装推進部

内容の詳細については、中経連ホームページをご覧ください



ナゴヤ イノベーターズ ガレージ

中経連は、中部圏におけるイノベーションの活性化や持続的な成長・発展に寄与するため、2019年7月、名古屋市と共同で「ナゴヤ イノベーターズ ガレージ(以下、NIG)」を開設し、今年で5周年を迎える。本特集では、NIGオープンまでの道のりから現在、そして、「これから」をご紹介します。

オープンまでの道のり

世界経済が劇的に変化する中、「中部圏企業は従来のビジネスモデルで持続可能なのか」。この問いから、NIGの構想は始まった。その発端は2016年、第15回中部産業振興協議会※で、「中部圏のイノベーション促進やその支援拠点の必要性」が議論されたことまで遡る。その後、関係者のヒアリングや現地調査を経て、2018年の第17回同協議会において、産学官が一体となり中部圏のイノベーション力強化を図ることを確認。名古屋都心部にイノベーション創出拠点を設置する提案がされた。

構想から3年経った2019年5月、「中部圏イノベーション推進機構」を設立。同年7月9日、名古屋市中区栄のナディアパーク4階において、中部圏のイノベーション創出促進拠点としての本格運営を開始した。

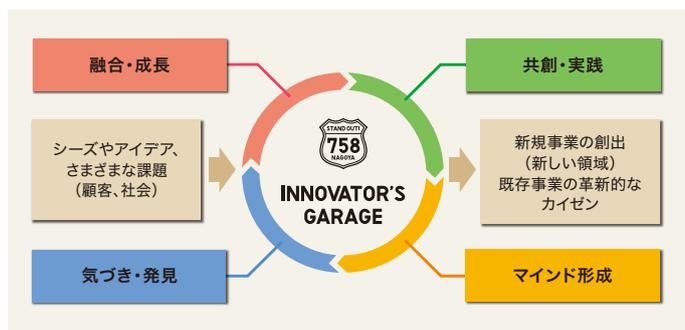


※中部産業振興協議会:2002年6月、中経連の呼びかけにより、先端産業分野の研究機関や企業の誘致、産学官連携による新技術・新産業の創出を経済界・学会・行政が一体となって積極的に推進することを目的に設立。

施設の成長・プログラム拡充

開設当初、NIGは「**マインド形成**」「**気づき・発見**」「**融合・成長**」「**共創・実践**」の4つの成長ステップを基盤に、8つのプログラムをリリース。産学官連携を強化するとともに実践者の声や課題を反映しつつ、プログラムの改善を続けた。

2022年には、学生や企業の新規事業従事者が気軽に集まり、議論できる場として、ナディアパーク3階に「Garage Annex」を設立。施設キャ



Garage Annex

NIG開設までの中経連の取り組みと開設後の動き

2016年	中部圏のイノベーション促進や支援拠点の必要性をヒアリング、現地調査を開始。
2018年	名古屋都心部のイノベーション創出拠点形成に先立ち、会員企業向けにオープンイノベーションを学ぶプログラムの提供を開始。
2019年5月	中部圏イノベーション推進機構 設立 会長: 豊田鐵郎 (一社) 中部経済連合会 会長(当時)
2019年7月	NIG 開設(ナディアパーク4階)
2022年7月	施設拡張 ナディアパーク3階に「Garage Annex」をオープン。
2023年6月	累計利用者数10万人突破 プログラム開催数は年間400回を超える。
2024年7月	開設5周年

パシィティ増強やプログラムの拡充を進め、開設から約4年が経過した2023年6月に累計の利用者数は10万人の大台を突破した。プログラム開催数も年

間400回を超え、一層の活気を呈し、中部圏の事業会社においても、新規事業開発の進め方に変化が見られ始めている。

■ 事例1 ■

オープンイノベーションを基軸に新規の事業開発プロジェクトを立ち上げた事業会社は、NIGのほか、名古屋商工会議所が運営するインキュベーション施設「なごのキャンパス」などを利用し、社外での新規事業創出活動を継続している。

■ 事例2 ■

NIG主催プログラムに参加した新規事業開発者は、プログラムで立案したビジネスアイデアを基に、所属会社と協力して新会社を設立。自らがその会社にCEOとして出向し、時代に即した新規事業開発を行っている。

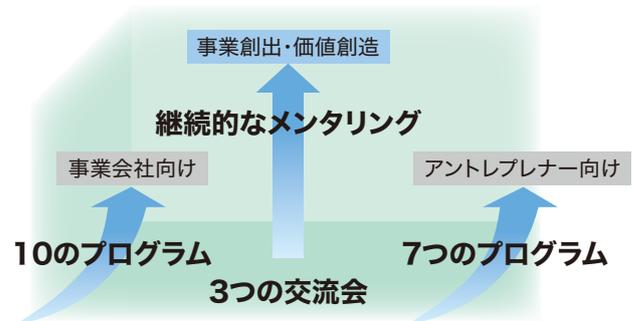
見えてきた課題

NIGを開設して5年を迎えた現在、今後10年、20年先の未来を担う学生のアントレプレナーシップやその環境に関する課題が浮き彫りになってきた。

NIGは、アントレプレナーシップを単なる「起業家精神」とは位置付けず、「**考えて行動する力**」と定義している。起業は人生の一選択肢に過ぎず、「考えて行動する力」こそ、これからの社会で全ての人に必要とされるスキルである。「起業家」ではなく、考えて行動する「**起行家**」を育成することが、中部圏および日本の未来を創る世代にとって重要だと考えている。

提供プログラム概念図

- 成長支援プログラム: 事業会社向け、アントレプレナー向けで提供
- 各プログラムの参加者を交流会でつなぐ: 幅
- 継続的なメンタリングにより、成長の質、スピードを上げる: 厚み



今後の計画

2024年度からは、事業会社向けのプログラムとは別に、学生を中心としたアントレプレナー向けのプログラムを4つの成長ステップに基づいて拡充する方針であり、350人の「起行家」育成を目標に活動していく。

高校生アンバサダーの活動も活発になっている。プログラムに参加している愛知県内の高校生8名が立ち上げたチーム「Garage One」では、高校生の目線や価値観から同世代に向けたプログラムを

展開していく予定である。NIGでは、中部のこれからを担う「未来の起行家」を最大限にサポートしていく。



ZeroからOneを生み出すという思いが込められたチーム名「Garage One」のメンバー

ナゴヤ イノベーターズ ガレージ

■ NIG 利用例 ■

鈴木 明優 さん SUZUKI ASU

- 東邦高校 3年生
- Garage One リーダー

NIGの高校生アンバサダーである鈴木さんは、所陽向さん(市邨高校3年生)、中島啓仁さん(飛鳥未来高校3年生)、山本帆菜美さん(東邦高校3年生)、幸村理沙さん(聖霊高校3年生)、伊藤獅竜さん(東海高校2年生)、野口晃義さん(愛工大名電高校2年生)、菊池将成さん(合同会社ノブレス・高校生起業家)と、「Garage One」というチームで、NIGを拠点に活動している。これまで、「Z世代ナゴヤ未来会議」や「Garage Challenge」など

のプログラムにおいて、学生ならではの視点から課題を見つけ、その解決に向けた取り組みを行ってきた。

現在は、チームで企画したプログラム「TEENS ENTREPRENEUR」で、課題に挑戦する中高生や起業を目指す若者へのサポートや、「ナゴヤ”から社会を盛り上げていく」というビジョンを掲げた交流イベントの定期開催などに力を入れている。



田辺 一孝 氏 TANABE KAZUTAKA

- 製造業向け産廃削減ソリューション (株)Revo Japan
- 某自動車部品メーカー 勤務

田辺氏は、NIGを拠点に、企業に在籍しながら新たな事業を創出し、同企業において初の登記に成功した実績を持つ。きっかけとなったのは、本業である自動車産業に携わってきた過程で、一流の自動車に使用される材料の大量廃棄問題に直面したことであった。その端材を別の商品に展開

することはできないかという発想から、素材メーカーなどと協力し、端材を防草シートや防音パネルに転換するなど、廃棄予定だったものに手を加え、新たな価値を生み出した。

今後は、この取り組みを通して、土木業界における課題の解決やSDGsの一環となる新規ビジネスの立ち上げなどを目指している。



★会員募集中★



新規事業を創出・共創したい方、同じ意志を持った人とつながりたい方をお待ちしております!

ナゴヤ イノベーターズ ガレージは、(一社)中部経済連合会と名古屋市がタッグを組んで設立した会員制のイノベーションハブ施設です。5年先・10年先に向けて新規事業に取り組みたい方、同じ意志を持った人とつながりたい方、共創による新規事業創出を目指している方をお待ちしています!
TEL: 052(253)9758 / E-Mail: info@garage-nagoya.or.jp



会員区分と年会費

会員区分	年会費	定義
個人会員※1	60,000円	18歳以上の個人
法人会員※2	360,000円	法令や法律により設立された法人など

入会には審査があります。 ※1:記名式で登録本人のみ利用可。 ※2:無記名式で登録1法人あたり3名まで同時利用可。



GARAGE Report

Report 1

2023.12.18 Mon. ~ 2024.3.30 Sat.
2023年度Garage Challenge



詳細はこちら

NIGは、参加者が社会などに対する「問い」を持ち寄り、賛同者を巻き込んで、プロジェクトの実践に向けた第一歩を支援するプログラム「Garage Challenge」を開催した。高校生や大学生、社会人など、計55名(18チーム)が、ワークショップやピッチなどに参加しながら「問い」に向き合った。

最終日には、各チームが立てた「問い」への検討結果を発表した。優勝は、「日本には多くの温泉地があるが、有名な温泉地しか知られていない。個々の好みに合った温泉を見つけると地域も盛り上がるのではないか」という「問い」の解決に挑戦した、高校生・大学生・社会人からなるチーム「ONLY FOR 湯 YOU」が勝ち取った。このほか、製造業に従事する会社員のチームは、「一流の材料の端材が

廃棄されているのは、なぜか」という「問い」に対し、解決策として防音パネルや防草シートなどのアップサイクル※製品を試作するなど、多様な発表が行われた。

2024年度は、四半期ごとに計4回開催され、第3回目は9月28日(土)から開催予定。

※廃棄予定だったものに手を加えて新たな価値を生み出し、別の製品として生まれ変わらせること。



Report 2

2024.4.18 Thu.
Innovators College



詳細はこちら

NIGは、実践型ワークショップ「Innovators College」を開催した。本プログラムでは、月に1回、新規事業・起業を推進するために必要な考え方や発想法を実践的に学ぶことを目的に、ワークショップを実施している。

今回はティッピングポイント(株)代表取締役の浦野隆好氏を招き、「実は身近なイノベーション」をテーマに講義を行った。後半は、思考を柔軟化させるワークセッションを実施。参加者は、「持ち手のない傘」などの独創的なアイデアを出し合い、新規事業創出につながる想像力を養った。



GARAGE Schedule 2024年7月～8月プログラム・イベント予定

NIGでは、共創を通じて新規事業の創出や既存事業の変革が持続的に起こる仕組み「中部圏イノベーションエコシステム」を循環させるため、さまざまなプログラムやイベントを開催しています。

プログラム
イベント詳細
はこちら



7月6日(土) アーティスト・トーク

愛知県立芸術大学の協力のもと、2020年から毎年実施しているNagoya Innovator's Garage賞の受賞アーティストらによるトークイベント。アーティスト本人から、NIG施設内に展示している受賞作品に込めた想いやアート的重要性について、直接聞くことができます。

7月27日(土)・28日(日) キッズ&ジュニアプログラム「KID'S TECH2024」

次世代を担う若い世代を対象に、学校教育では不足しがちな「体験」を通して、楽しく創造性を磨くためのプログラム。高校生有志がIoT技術を駆使した屋台の運営やワークショップ、高校生やものづくり企業のエンジニアによる体験型のプロダクト展示など、世代を超えて楽しめるイベント。

8月3日(土) MUSIC in the GARAGE! Expanded ver.

芸術を巡るコミュニケーションや日常に彩りを与える体験から生まれる新しい発想を得るとともに、知的創造のきっかけづくりを目指す音楽コンサート。今回は拡張版として、ナディアパーク(名古屋市中区栄3-18-1)2階のアトリウムで開催します。

8月9日(金) 次世代経営のための異業種交流会 #6 ～クルマのない世界を考える～

既存の枠組から脱却し、交流の幅を広げ、世界の潮流を読み、行動につなげることを目的とした、マネジメント層向けの交流会。今回は、自動車産業を強みとしてきた当地のノウハウを生かし、「クルマ」のない世界を前提とした新しい産業の創出に本気で取り組むマインドを養成します。

**8月20日(火) (DAY1開催日) 事業開発を成功に導くデザイン思考
～アイデアを1から創りきる(6日間)～**

8月中旬～10月中旬の2カ月間(全6回)、グループワークを通じて、新たな価値やビジネスの創造に向けた「デザイン思考」を体系的に学ぶことができるプログラム。新規事業のアイデアを創出したい方、デザイン思考を体系的に学びたい方、起業を目指されている方におすすめです。



“自分らしく働く”環境づくりを目指して ～女性リーダーの視点から～

5月15日(水)、中経連が設置する「中部の魅力を語る なでしこの会」(以下、なでしこの会)は、「“自分らしく働く”環境づくりを目指して ～女性リーダーの視点から～」と題するイベントを開催し、約150名[会場(ナゴヤ イノベーターズ ガラージ):約60名、オンライン:約90名]が参加した。概要は以下のとおり。

開催主旨

なでしこの会は、2021年7月の活動開始以降、会合において、中部の魅力に関する自由闊達な議論を重ね、2023年3月には「住みやすさの『魅力』」「観光の『魅力』」に焦点を当てた初のイベントを行った。その後も会合で議論を重ねる中、自分らしく働くことができる環境は人によって千差万別であるが、制度面やマインド面での共通課題が意外と多いことが見えてきた。

2回目の開催となる今回は、「働く場の『魅力』」に焦点を当て、なでしこの会メンバーの知見や経験、各企業が取り組む事例の発信を通じ、課題解決に向けたヒントとなることを目指した。



イベント概要

<トークセッション>

なでしこの会メンバーの11名が登壇し、岡野中電クラビス(株)取締役による進行の下、「自分らしく働く環境づくり」に向けた、さまざまな観点からの意見を発信した。具体的には、「産後パパ育休」の呼び方を「育チャレ(育休チャレンジ制度の略)」に変えることで男性も育休を取得しやすくする取り組みや、性別を問わず管理職を望まない若者が増える中、「管理職になって良かったこと」などの事例を紹介した。また、「中部は働きやすいのか」という問いには、「制度や住環境が充実しており、働く土壌は整っている」「製造業が多い中部では女性従業員や女性管理職の比率が低いいため、開拓の余地がある」などの意見が出た。

<Q&Aセッション>

会員企業の人事部門からは、「製造現場は夜勤があることや時短勤務が困難であるため、働き方の柔軟

性が低い」「育休などでキャリアを離れる期間分だけ昇格が遅れてしまう」などの懸念に対し、なでしこの会メンバーは解決に向けたアドバイスやエールを送った。

<クロージング>

なでしこの会オブザーバーの杉野名古屋市長と牧野愛知県副知事、水野中経連会長が登壇した。



杉野副市長は、子育て家庭を応援する名古屋市の支援策を紹介した。続いて、牧野副知事は、愛知県「休み方改革」プロジェクトを紹介するとともに、「行政が制度を整備しても利用されなくては意味がない。制度を利用できる雰囲気や企業で醸成することが大事」と呼びかけた。水野会長は、「働きやすい環境づくりで一番大切なことはコミュニケーション」と強調。最後に、「中経連は引き続き、本イベントのように異なる業種の人たちが多く参加する社外コミュニケーションの場づくりを進めていきたい」とし、会を締めくくった。

交流会

クロージング後は、なでしこの会メンバーを含む参加者間で活発な情報交換ならびにネットワーキングが行われた。



[企画部 櫻井]

委員会とは

中経連では、12の委員会を設置し、国内外の経済社会などに関する諸問題について調査研究・提言を行うなど、さまざまな活動に取り組むとともに、活動を通して会員相互の交流を図っています。会員登録者であれば、委員会に参加することができます。

第2回産業・技術委員会

開催日 3月27日(水)

参加者 委員長の寺師副会長をはじめ30名[シンポジウムは約420名が参加(オンラインを含む)]

寺師委員長の挨拶に続き、事務局より次世代モビリティに関する活動報告を行った。後半は、中部経済産業局とともに、CAMIP※によるシンポジウムを開催。「空モビリティの未来」をテーマに、中部圏で実際に活動している企業・行政から迎えた担当者が話題を提供した上で、名古屋大学未来社会創造機構教授の森川高行氏をモデレーターに、パネルディスカッションを行った。

※中部先進モビリティ実装プラットフォーム(Chubu Advanced Mobility Implementation Platform): 民間企業、自治体、大学、研究機関のマッチングや連携を促し、共通基盤技術開発を推進することを狙いに、2021年に立ち上げたプラットフォーム。



[社会実装推進部 森]

中経連ホームページでは掲載の記事について、詳しく紹介しています。

<https://www.chukeiren.or.jp/committee/>



中経連 ダイジェスト

ダイジェストとは

中経連の中期活動指針「ACTION2025」で3本柱として掲げる「付加価値の創造」「人財の創造」「魅力溢れる圏域の創造」に基づいた、さまざまな活動や行事などをご紹介します。

4月
4日
(木)

長野県経営者協会との懇談会

中経連は、長野県経営者協会との懇談会を松本市内で開催し、中経連からは水野会長をはじめ8名、長野県経営者協会からは碓井総会長(セイコーエプソン(株)取締役会長)や女子部会のマキナリー浩子委員長をはじめ11名が参加した。当日は、両団体の会長挨拶に続き事業活動について相互に説明した後、意見交換を行った。



碓井会長



女性部会 マキナリー浩子委員長

[総務・会員サービス部 柳田]

5月
17日
(金)

愛知県立大学特別講義※1

愛知県立大学の教養連携科目「ものづくりの現状と課題(全14回)」の第4回目の講義において、同大学2年生を前に、中経連企画部の渡邊が講師を務めた。講義では、「愛知の産業の全体像」をテーマに、当地域の産業の成り立ちやわが国の製造業を取り巻く課題、企業の事業活動、就職活動における企業の採用ポイントなどを紹介した。

本科目は、学生がチームごとにプロジェクトテーマを設定し、企業が直面する課題の解決に向けて取り組むプロジェクト型実践教育である。

今回は、「愛知ブランド※2」認定企業が講義を行い、同企業の課題に対する解決策を検討する。

※1 産学共創によるキャリア教育の実践策として、会員企業から会員大学に講師を派遣する「キャリア教育共創プログラム」の一環として実施。

※2 オンリーワンやファーストワン、トップシェアなど、世界に誇る独自の技術や技術力、製品を持つ、愛知県内の優れたものづくり企業を「愛知ブランド企業」として認定している。



〔企画部 渡邊〕

5月
20日
(月)

5月度定例記者会見

中経連は総合政策会議終了後、水野会長の定例記者会見を行い、

- ・役員人事
- ・エネルギー・環境委員会が取りまとめた提言書「次期エネルギー基本計画策定に対する提言」※

を公表した。

会見には、エネルギー・環境委員長の勝野副会長が同席した。

※本誌2・3ページ参照



〔総務・会員サービス部 横山〕

5月
20日
(月)

明日の中部を創る21世紀協議会 2024年度総会

明日の中部を創る21世紀協議会(会長:水野中経連会長)は、2024年度の総会を名古屋市内の会場ならびにオンラインで開催した。2023年度事業報告に続き、2024年度事業計画・収支予算を報告した上で、2023年度収支決算(案)、理事選任(案)の審議を行い、原案どおり承認された。

〔総務・会員サービス部 伊藤〕

5月
21日
(火)

駐日インド共和国大使とのビジネス懇談会

中経連は、駐日インド共和国大使館のシビ・ジョージ特命全権大使を招き、水野会長ならびに経済産業省中部経済産業局の寺村局長、中部経済界のリーダーら11名とビジネス懇談会を開催した。

〔国際部 樹下〕



中経連ホームページでは、掲載の記事について詳しく紹介しています。

<https://www.chukeiren.or.jp/newscat/report/>



中部圏デジタルスキル習得講座

中経連は、AI開発・DX人材育成に取り組む(株)SIGNATEと連携の上、企業の全社員が身につけるべきデジタルリテラシーの習得からDX推進人材の育成までに対応するオンライン講座「中部圏デジタルスキル習得講座」を中経連会員の皆様に特別価格で提供しています。

講座の概要

提供	○ オンラインによるオンデマンド方式
効果	○ デジタルデータを取り扱うための基礎的な知識・スキルを習得する講座から、擬似的に企業の課題を解決するPBL形式講座(問題解決型学習)まで多種多様なコンテンツを通じて、DX推進を図る上での人材育成が可能。 ○ 講座ごとの動画やスライドによる座学の後、手元の端末で 実際に手を動かしてスキルを身につけることが可能。 ○ 経済産業省策定「デジタルスキル標準」に準拠したコースをはじめ効果的に学習を進められるコースを複数受講可能。
受講対象	○ 中経連会員企業・団体

多くの講座から学びのコースを自由に設定

基礎スキルを習得

- ・ データ分析入門(基礎編)
- ・ AI入門
- ・ 生成AI入門
- ・ AI関連法律講座
- ・ 統計学のキホン
- ・ Excel入門
- ・ 誤解グラフ
- ・ SQL入門
- ・ テーブルデータ100本ノック
- ・ Python入門
- ・ Pandas道場
- ・ セキュリティマネジメント
- ・ AI・データ活用事例集
- ・ ChatGPT活用講座(職種別)

より高度なスキルを習得

- ・ 食品ロスの削減
- ・ 金融機関におけるテレマの効率化
- ・ 製造製品の欠陥検出
- ・ スポーツのチケット価格の適正化
- ・ 株価の予測
- ・ 債務不履行リスクの低減
- ・ 宿泊予約サービス価格推定適正化
- ・ 健康経営のための疾患リスク予測
- ・ 衛星画像の分類
- ・ 賃貸物件の家賃推定
- ・ 雲画像の未来予測
- ・ 工場設備の余地保全
- ・ 鉄道車両保守の作業効率化
- ・ 自動車環境性能の改善

エクセル入門からPythonモデリングまで幅広くラインナップ

コース設定(例)

DXリテラシー標準入門コース	DXリテラシー標準準拠コース(ビジネス職)	AIリテラシーコース	Pythonモデリングコース
DX推進スキル標準準拠コース	DX推進スキル標準準拠コース(データサイエンティスト・初級)	ノーコードデータ分析コース	中部圏デジタルスキル習得講座特別コース

育成できる人物イメージ

ビジネス アーキテクト



ビジネスや業務の変革を通じて実現したいこと(=目的)を設定した上で、関係者をコーディネートし関係者間の協働関係の構築をリードしながら、目的を実現できる人材

データ サイエンティスト



データを活用した業務変革や新規ビジネスの実現に向けて、データを収集・解析する仕組みの設計・実装・運用を担う人材

デザイナー



ビジネスの視点、顧客・ユーザーの視点などを総合的にとらえ、製品・サービスの方針や開発のプロセスを策定し、それに沿った製品・サービスのあり方のデザインを担う人材

通常版サービスでは
10名からのお申込みが、
本講座では1名から可能

中経連会員限定!
お一人様 1年間 **99,000**円(税込)

厚生労働省「人材開発支援助成金」の
活用で大企業においても
45%経費補助が可能

詳細はWEBサイトへ

<https://central-japan.info/course> お問い合わせ先: digital@chukeiren.or.jp



「コーヒブレイク」は、会員の皆さまの趣味や日課などの「オフ」を中心に、寄稿者さまと読者の皆さまがコーヒーを飲みながら雑談しているような、「ホッ」と一息つけるコラムを目指しています。



Coffee break

コーヒブレイク

中経連会員コラム

3

井村屋グループ株式会社
代表取締役会長（CEO）

中島 伸子

Nakajima
Nobuko

〈人生で一番使う言葉〉

新年度になると、元役員の話を必ず思い出します。

三十年前、桜咲く東京での入社式後、彼は社内放送で「面会者が玄関でお待ちです」と呼ばれた。

「北陸出身で知人もいない東京で誰が？」と思いつつながら向かうと、長靴を履き、古びたコートを着た父が立っていた。

「社会人おめでとう。一本はお前に。もう一本は上司に」父は祝いの言葉とともに一升瓶を二本差し出してきた。

冷やかしてついでに同期の視線が集まる中、彼の口から思わず出た言葉は、「恥ずかしいから早く帰ってくれ」だった。

「あの時の父の驚いた顔や寂しいうしろ姿が、今でも目に焼き付いている。『あの時はありがと』と、お礼を言えないまま、父は他界。三十年間、後悔している」と語った。

私はこの話を聞き、生きている限り「ありがと」を言い、相手と喜びを分かち合おうと、誓いました。

七月一日は「井村屋あずきバーの日」*です。年間三億本を超える販売量はお客様のご支援のおかげであり、世の中に感謝があらわれている事を幸せに思います。

*（社）日本記念日協会による認定・登録

次号は清和海運株式会社の代表取締役社長 宮崎祐一様の予定です。

会員入会のお知らせ

5月20日（月）開催の総合政策会議において承認された新入会員をご紹介します。

【法人会員】

■ 株式会社アイエーシーインターナショナル

[登録者] 代表取締役会長兼CEO 今村 英二

[所在地] 滋賀県彦根市南川瀬町401-1

[TEL] 0749<25>2155

【団体会員】

■ 一般社団法人炭素会計アドバイザー協会

[登録者] 代表理事 鈴木 修一郎

[所在地] 名古屋市東区東桜一丁目13-3 NHK名古屋放送センタービル16階 株式会社ウェストボックス内

[TEL] 050<3095>4967

デロイト トーマツ リスクアドバイザー合同会社

デロイト トーマツ リスクアドバイザー(同)では、クライアントが適切にリスクテイクし、経営上の課題に的確に対応するため、

- アカウンティング&インターナルコントロール※1
- サイバー※2
- ストラテジックリスク※3
- レギュラトリー※4

などの幅広いサービスを提供しています。

これらのサービスを通じ、クライアントの経営課題の



テナントオフィス外観

解決を支援することで、社会全体の基盤である「専門家の社会インフラ」となることを使命としています。

デロイト トーマツ グループは、日本で最大級のプロフェッショナルグループの一つであり、各法人がそれぞれ



メッセージ

リージョン(中京、関西、西日本)
カテゴリー長

大島 嘉秋
おおしま よしあき

この度は入会をご承認いただきありがとうございます。

私は、4年間の米国駐在(オハイオ州シンシナティ市)を除き、学生時代も社会人になってからも一貫して名古屋を中心に活動しており、同地域にどう貢献できるかということを日々考えております。出身は愛知県清須市です。趣味は神社仏閣や名所旧跡巡りです。趣味が高じて、日本の一宮※5・72宮(諸説

の適用法令に従い、監査・保証業務やリスクアドバイザー、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー、税務、法務などに関するサービスを提供しています。また、国内約30都市に約2万名の専門家を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。



オフィスエントランス

※1 クライアントが会計および財務報告、保証ニーズ、リスク評価、内部統制システムの有効性に関連する課題とリスクに対応することにフォーカスしたサービス。

※2 サイバーセキュリティの面から経営変革を支援するサービス。

※3 クライアントの財務状態を危険にさらすリスクおよび予期しない重大事象の発見、評価、管理、対応を行う上での支援。

※4 クライアントが規制、強制執行、訴訟、紛争、金融犯罪などに対応する上での支援。

ございます)を全て周りました。各宮を訪れる過程で、日本の国の成り立ちを実感しました。最近では、統計学としての易(易経)※6に興味を持っています。いつの時代も先は見通せないものですが、3,000年以上前、古代中国の時代から、何らかの規則性を追い求めた易の考え方に、企業経営における戦略立案や中長期計画、予算の考え方との相似性を感じております。

何卒よろしく願いいたします。

※5 各国(律令制に基づく行政区分)の中で、最も格式が高いとされた神社。

※6 古代中国の占いの書。儒教の経典の一つ。

創業 2003年1月

事業内容 経営管理高度化により企業の持続的成長をサポート

所在地 〒450-8530 名古屋市中村区名駅一丁目1-1(JPタワー名古屋)

TEL 052(565)5950



愛知県信用農業協同組合連合会

愛知県信用農業協同組合連合会は、1948年の設立以来、JA（農業協同組合）と一体で愛知県全域を営業エリアとする地域金融機関として、組合員をはじめとした地域利用者の暮らしを豊かにする金融商品・サービスの提供に努めています。

具体的には、愛知県内のJAバンクの認知度向上・顧客獲得に向けた各種PRの実施や貯金・ローンの推進企画、JA職員向け研修など、JAの持続可能な経営基盤の確立に向けた指導・支援のほか、JA貯金をお預かりし、有価証券などで集中運用する資金運用を行っています。

弊会は、農業専門金融機関として農業が抱える食料安全保障や農地維持、生産効率向上などの課題解決を目指しています。また、地域金融機関とし

ては地域が抱える人口や地域産業、環境などの社会課題の解決に向け、JAグループのみならず、行政や企業、団体、大学をはじめとする研究機関と知恵を出しあい、事業活動を通じて、地域農業と地域社会の発展に貢献してまいります。



メッセージ

理事長
磯村 幹夫
いそむら みきお

愛知県は1年を通じて比較的温暖な気候と豊かな水資源に恵まれている農業に適した地域であり、毎年の農業産出額が47都道府県のトップ10に入る全国有数の農業県です。

近時、わが国で食料安全保障に対する関心が高まる中、日本の農業を守り、成長させていくことが我々JAグループに課せられた使命だと考えています。弊会は、農業専門金融機関かつ地域金融機関

として、広義の意味での金融仲介機能を発揮し、新たなビジネスモデルの構築やソリューション提供などの価値創造を通じて、地域農業・地域社会のサステナビリティに貢献してまいります。このため、弊社職員に対しては、日頃から、固定概念に囚われず、他人の求める価値を創造することの必要性のほか、イノベーションや利他の精神の重要性を説いています。

今般、中経連の一員に加えていただき、異業種の方々と交流させていただくことが、地域農業・地域社会のサステナビリティに貢献する新たな価値創造につながればと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

設立 1948年8月

事業内容 協同組織金融

所在地 〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目3-8

TEL 052(951)3613



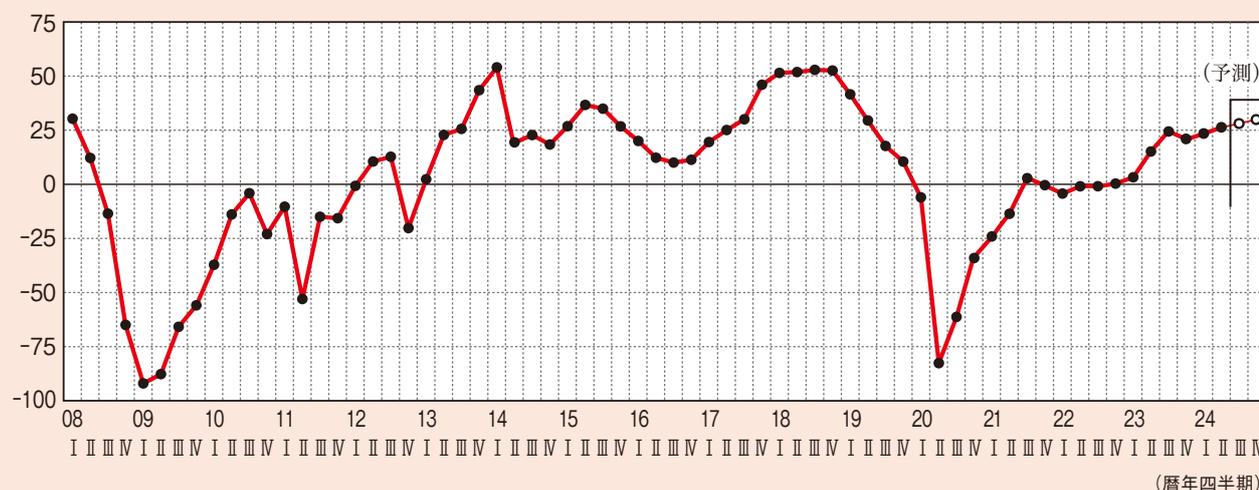
中部圏の景況判断

〔調査の概要〕 ◎調査時期：2024年4月24日～5月22日

◎対象：法人会員653社

◎回答：198社 (回答率30.3%)

〔現況判断・見通し：「良い」-「悪い」〕



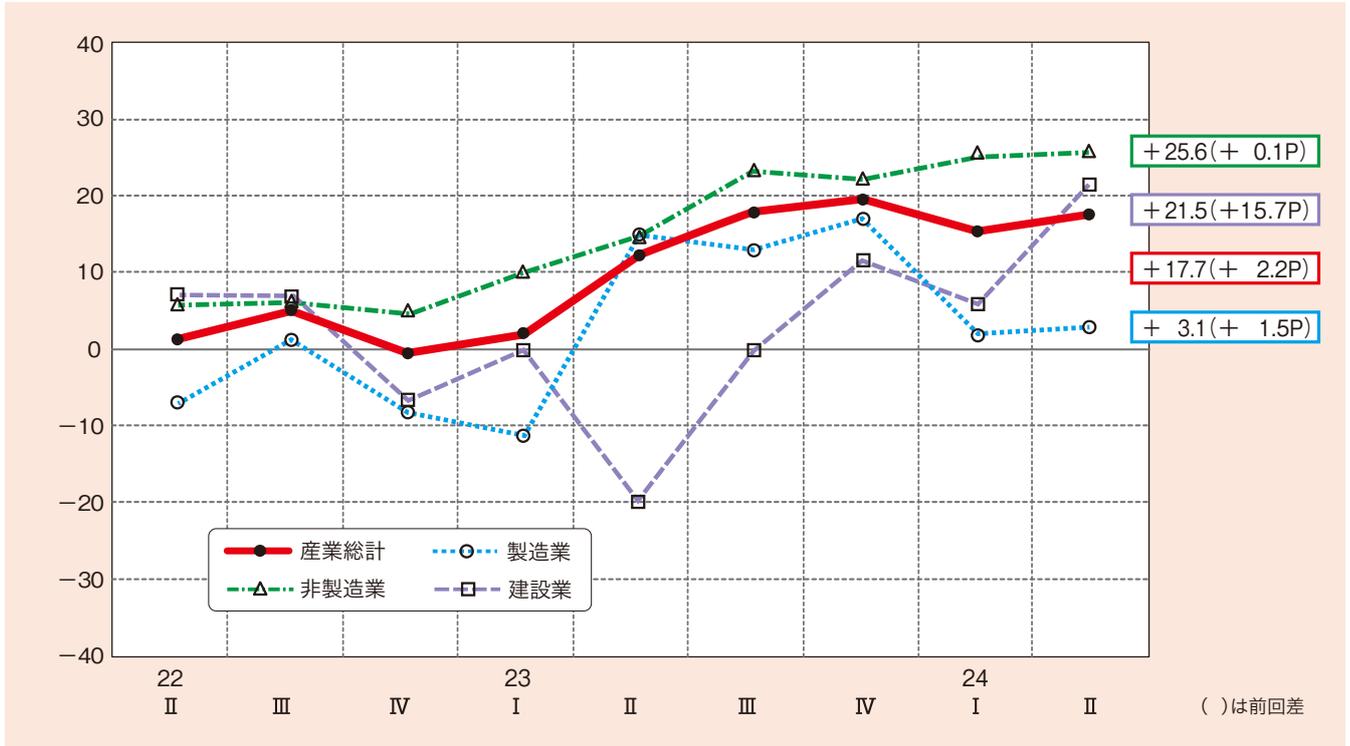
【1.今回のポイント】

- 4～6月期の中部圏の景況判断(「良い」-「悪い」社数構成比)は、2期連続で改善し、+24.4(前期比+2.9ポイント)となった。水準は前回予測を下回ったが、コロナ明け後では最高水準となった。業種別では、製造業は3期連続で悪化し、非製造業・建設業は改善した。水準は前回予測を製造業は下回り、非製造業は予測並み、建設業は上回る結果となった。
- 景況判断の先行きについては、製造業・非製造業は改善、建設業は横ばいで推移する見通し。中国経済の先行き、急激な為替変動、資源原材料の価格変動を懸念する企業の割合が多い。一方、物価と賃金の好循環、個人消費の回復、雇用者所得の増加、為替の安定への期待が高まっている。
- 業績判断(「良い」-「悪い」社数構成比)は産業総計で再び改善した。業種別では、製造業・非製造業はわずかに改善、建設業は大幅に改善した。
- 設備投資計画判断(「増し」-「縮小・繰り延べ」社数構成比)は産業総計で再びやや悪化となった。
- 機械設備水準判断(「不足」-「過剰」社数構成比)は2期連続で悪化した。
- 雇用判断(「不足」-「過剰」社数構成比)は2期連続で低下したものの、引き続き高い値となった。
- 仕入価格判断・販売価格判断(ともに「上昇」-「下落」社数構成比)は、産業総計で仕入れ価格は5期ぶりに上昇し、販売価格は3期連続で上昇した。
- 為替相場については、「業績予想の前提レート(146.3円)」と「妥当な水準(130.1円)」がともに円安方向に変化し、業績予想の前提レートの上昇幅が大きく、ギャップは拡大した。
- 経営上の課題としては、「人手不足」と回答した企業が引き続き最も多い。人手不足の対応策としては「採用(中途を含む)」と回答した企業が産業総計で最も多く、次いで、「今年度の賃上げ」「業務の効率化・平準化」であった。
- 2024年春闘の妥結状況(もしくは見込み)について、「賃上げあり(ベースアップ含む)」と回答した企業は産業総計で正社員は約8割を占めるが、非正社員は約5割にとどまった。賃上げ率は、正社員が非正社員を上回っており、製造業の賃上げ率が正社員・非正社員ともに最も高い。賃上げを実施した理由については、正社員・非正社員ともに「業績が好調・改善しているため実施」が最も多く、「生産性の改善が見られるため実施」は1割程度にとどまっている。人材確保などの人的投資のために実施したという回答も散見される。
- 人件費上昇分の価格転嫁の状況は、これまでは産業総計で「転嫁不十分」が最も多く、次いで「ある程度転嫁済み」が多い。特に、非製造業では「ほとんど転嫁できず」が3割近く存在しており、価格転嫁が遅れている。今後の見通しは、「ある程度の転嫁は見込める」と「転嫁は見込めるが不十分」が約4割と多く、非製造業での価格転嫁の遅れが続く見込み。2023年10-12月期との回答と比較すると、価格転嫁が進んだ企業は産業総計で3割にとどまり、業種別では製造業・建設業の価格転嫁が非製造業より進んでいる。

【2.主な調査結果】

(1)業績判断D.I.

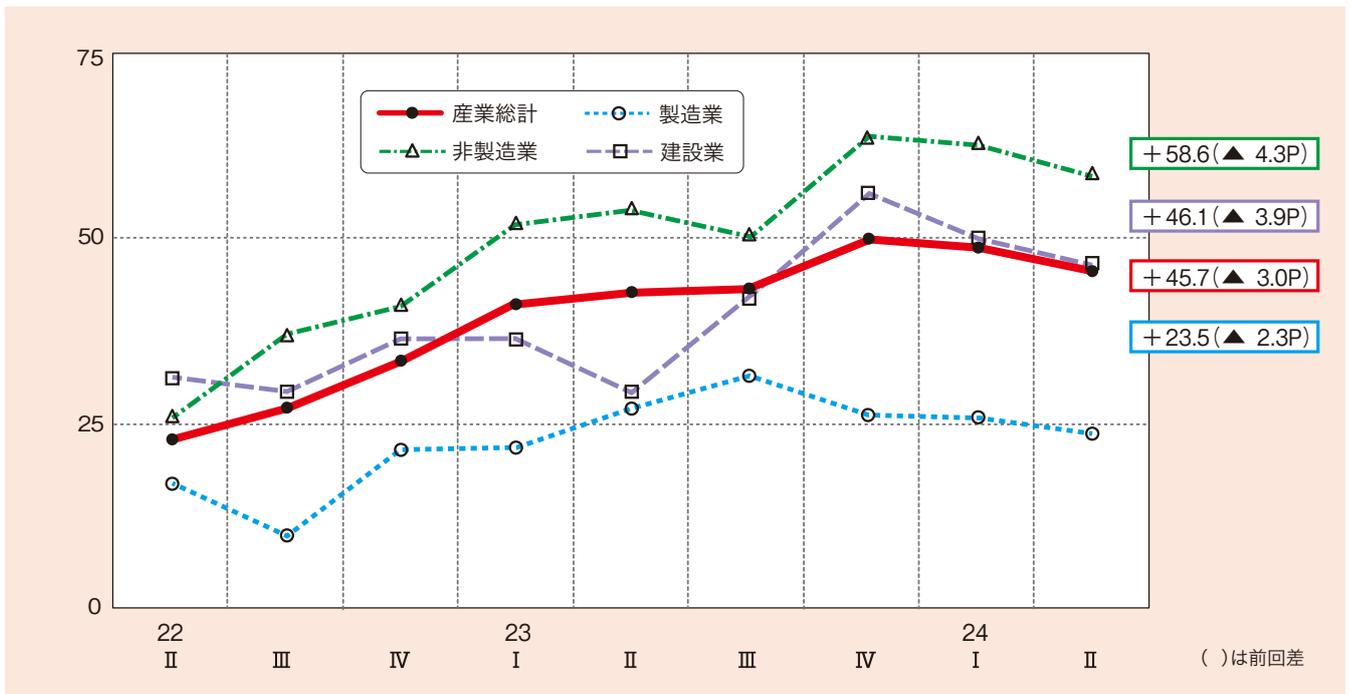
〔現況判断：「良い」-「悪い」〕



- 業績判断は、産業総計で再び改善した。
- 業種別では、製造業・非製造業は僅かに改善、建設業は大幅に改善した。

(2)雇用判断D.I.

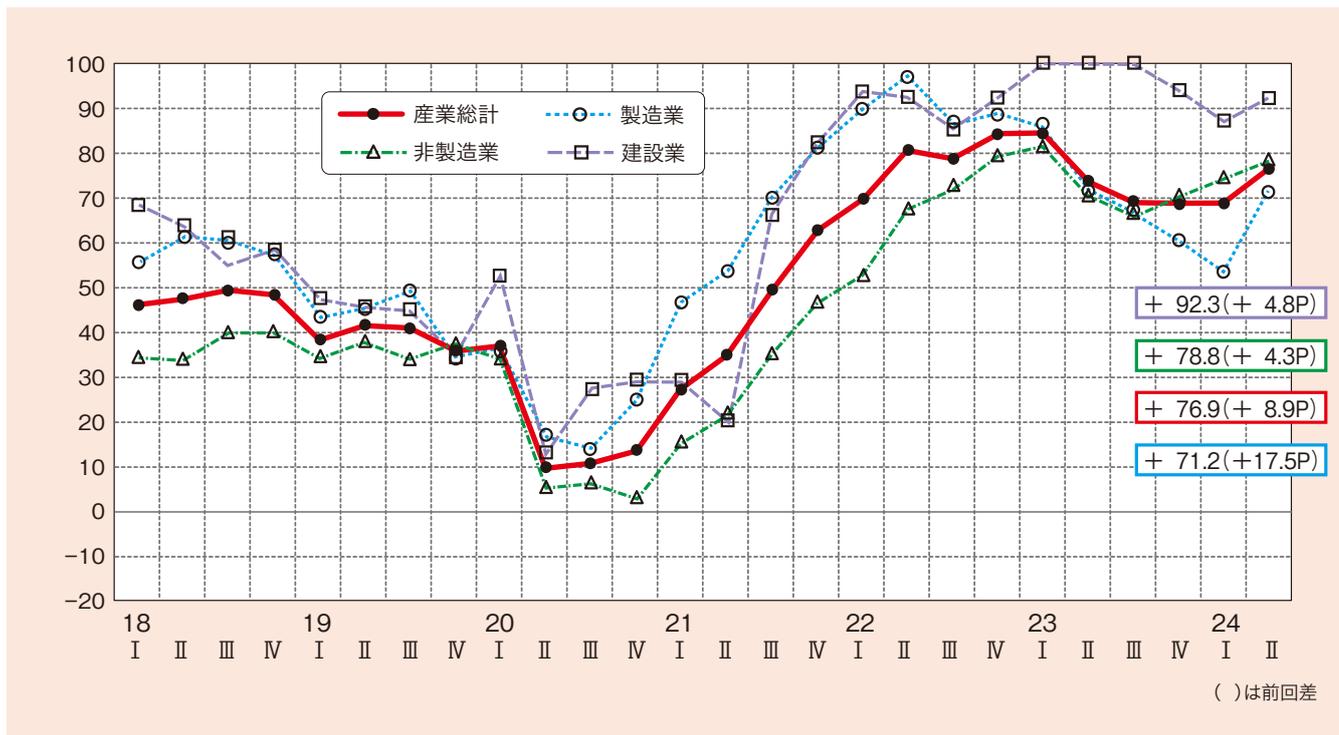
〔現況判断：「不足」-「過剰」〕



- 人手不足感は産業総計で2期連続で低下したものの、引き続き高い値となった。
- 業種別では、全ての産業で2期連続で低下したが、引き続き非製造業での人手不足感が強い。

(3)仕入価格判断D.I.

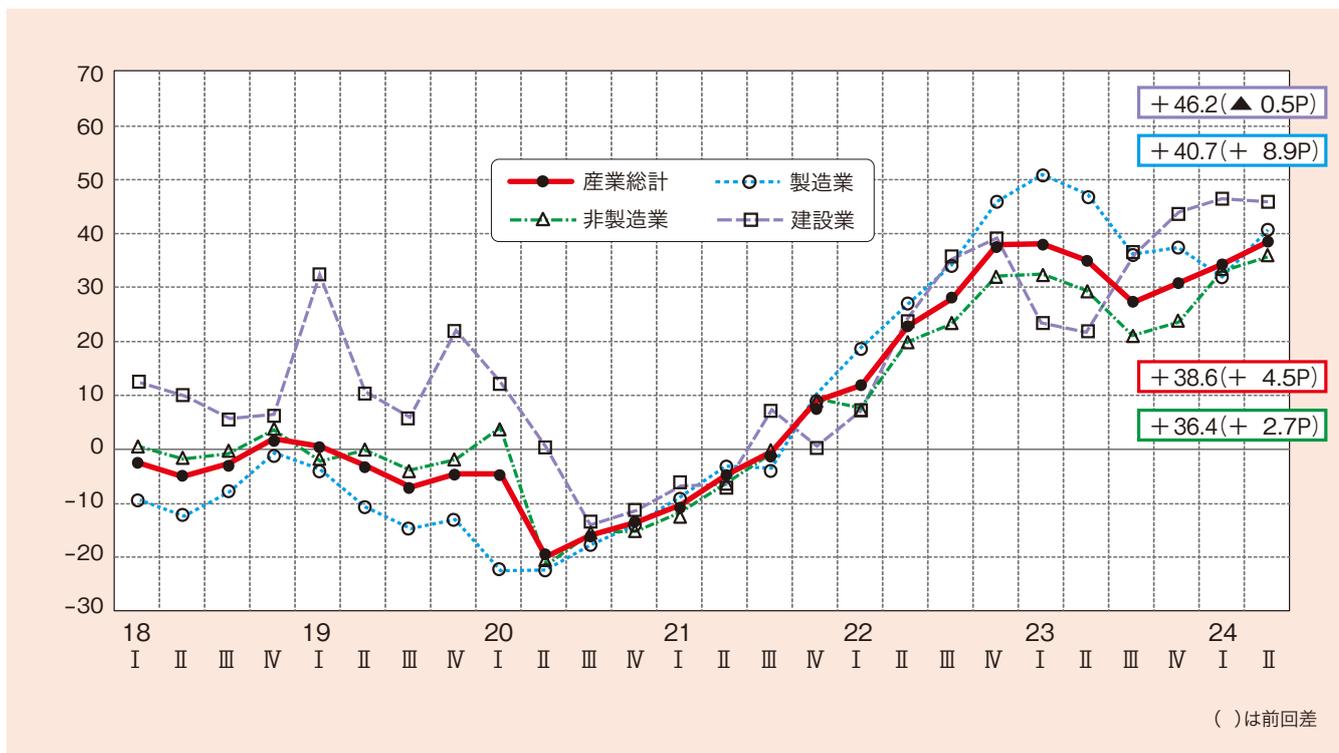
[現況判断:「上昇」-「下落」]



●仕入価格判断は、産業総計では5期ぶりに上昇した。業種別では、全ての産業で上昇し、特に製造業は6期ぶりに上昇した。

(4)販売価格判断D.I.

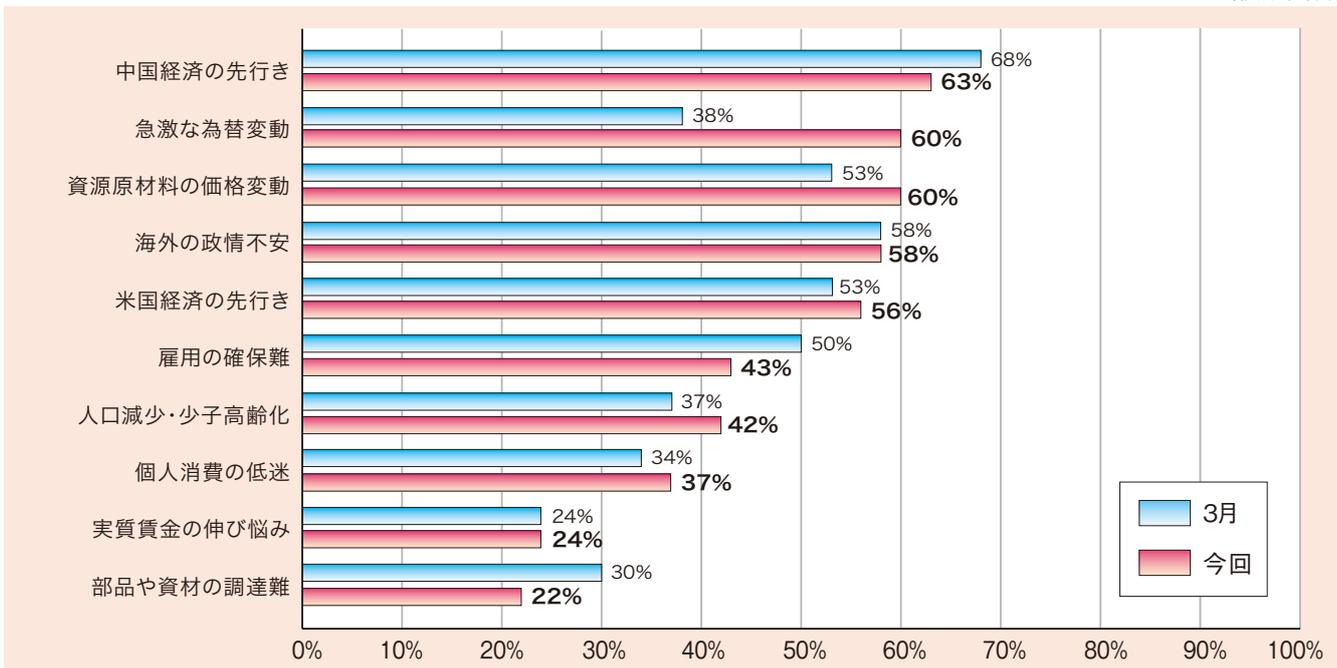
[現況判断:「上昇」-「下落」]



●販売価格判断は、産業総計では3期連続で上昇した。業種別では製造業・非製造業が上昇し、建設業がやや低下した。

(5) 景気先行きの懸念材料(上位10項目)

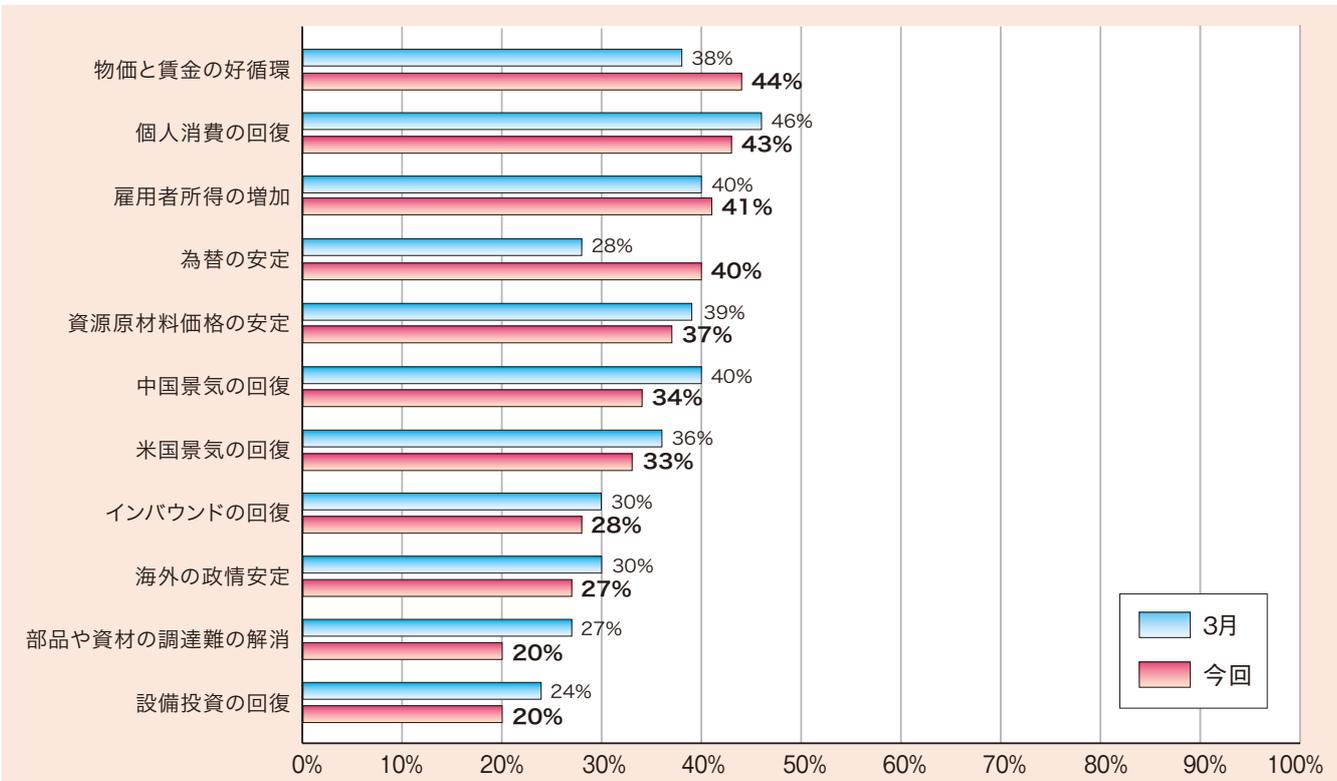
(複数回答)



- 「中国経済の先行き」は前回から引き続き減少したが、最も多い。
- 「急激な為替変動」「資源原材料価格の変動」は、6割となった。とりわけ「急激な為替変動」は前回から大幅に増加した。
- 今回から新たに追加した「日銀の追加利上げ」(12%)はランク外。

(6) 景気先行きの期待材料(上位10項目)

(複数回答)



- 「物価と賃金の好循環」が増加し、最も多い。次いで「個人消費の回復」「雇用者所得の増加」が4割台を維持し、上位3項目となった。
- 前回9位の「為替の安定」は、大幅に増加し4位となった。

お問い合わせ先: 調査部

セントレア（中部国際空港） 国際ネットワーク運航スケジュールのご案内

フィンエアー名古屋線運航中！ ◀ 週2便運航中

フィンエアーは、名古屋ーヘルシンキ路線を5月31日（金）出発の便（ヘルシンキ発は5月30日（木））から、週2便で運航中です。

名古屋ーヘルシンキ路線は、欧州各地への乗り継ぎに便利で、当地域から欧州各地へアクセス可能です。

出張でのご利用はもちろんご旅行におかれましても、客室を全面リニューアルしたエアバスA350で、より快適な空の旅をお楽しみください。



2024年夏期スケジュール

便名	出発地／到着地	出発時刻／到着時刻	運航曜日	使用機材
AY080	名古屋／ヘルシンキ	22:50／05:55(翌日)	金・月	A350
AY079	ヘルシンキ／名古屋	00:15／19:05	木・日	A350

セントレア利用促進キャンペーン実施中 ～空を取り戻せ!今こそ使おうセントレア!～

利用宣言募集中！ ◀ ■対象期間／2024年4月1日（月）～2025年3月31日（月） ■申込期日／2025年2月28日（金）まで

本キャンペーンは、コロナ禍で影響を受けた国際線ネットワークの復活を目指し、地域全体の航空需要を促進する取り組みです。中部地域（富山県、石川県、福井県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県）の法人・企業などの皆様に、「海外出張のうちセントレア便を利用する割合」の目標をあらかじめ宣言していただき、宣言に応じて特典を贈呈いたします。

✂ 宣言内容

全海外出張のうち、セントレア便を利用する割合が

85%以上:Gold認定

75%以上:Silver認定

65%以上:Bronze認定

✂ 特典

目標宣言時（実績は問わず、宣言いただいた企業の皆様に贈呈）

【1】セントレア「風の湯」入浴券 [Gold:10枚 Silver:7枚 Bronze:5枚]

【2】空港内のデジタルサイネージ、ウェブサイトなどに企業名を掲載

目標達成時

【1】国土交通省 中部運輸局長から表彰

【2】空港内のデジタルサイネージ、ウェブサイトなどに企業名を掲載

✂ 構成団体

国土交通省 中部運輸局、名古屋商工会議所、(一社)中部経済連合会、中部国際空港(株)



詳細はこちら



新しい仲間のご紹介を!!

中経連では、会員の皆様との活発な意見交換をもとに、デジタル化・DXの推進、2050年カーボンニュートラルの実現、イノベーションの活発化など、中部圏ひいてはわが国の発展に向けたさまざまな活動に取り組んでおります。

これまで以上に地域の期待に応え、より大きな成果をあげていくためにも、ともに活動いただける仲間をさらに増やしていきたいと思っております。会員の皆様におかれましては、是非とも新しい仲間をご紹介いただければ幸いです。何卒ご協力をお願い申し上げます。

【お問い合わせ先】総務・会員サービス部 伊藤 TEL052(962)8091

中部の未来を
ともに考え
行動してみませんか

会員増強にご協力ください

発行日 2024年7月1日
発行所 一般社団法人中部経済連合会
〒461-0008
名古屋市東区武平町5丁目1番地
名古屋栄ビルディング10階
TEL052(962)8091 FAX052(962)8090
編集発行人 一般社団法人中部経済連合会 宮本 文武
制作 株式会社たきコーポレーション
印刷 西川コミュニケーションズ株式会社

- 本誌に関するご意見・ご感想をお待ちしております。
E-mail kikanshi@chukeiren.or.jp
- 文責は事務局にあります。
- 落丁本・乱丁本はご面倒ですが中経連機関誌担当までお知らせください。お取り替えいたします。
- 本誌記事・画像の無断転載・複製を禁じます。

「中経連」次号は2024年9月1日発行予定です。

本誌は再生紙を使用しております。


一般社団法人
中部経済連合会

中経連

<https://www.chukeiren.or.jp>

2024.7・8 Vol.372

7 July

- 9 (火) 第2回カーボンニュートラル共創シンポジウム [名古屋大学東山キャンパス]
- 10 (水) 三重地域会員懇談会・交流会 [ホテル津センターパレス]
- 16 (火) 第1回国際委員会・グローバルセミナー [名古屋栄ビル]
- 17 (水) 静岡県との懇談会・懇親会 [中島屋グランドホテル(静岡市)]
- 24 (水) 第1回愛知地域会員懇談会・交流会 [名古屋栄ビル]
- 26 (金) 7月度正・副会長会 [名古屋栄ビル]
- 26 (金) 7月度総合政策会議 [名古屋栄ビル]
- 30 (火) 岐阜地域会員懇談会・交流会 [岐阜グランドホテル]

8 August

- 1 (木) 長野地域会員懇談会・交流会 [メトロポリタン長野]
- 6 (火) 名古屋市との懇談会・懇親会 [KKRホテル名古屋]
- 7 (水) 第1回経済委員会(講演会) [名古屋栄ビル]
- 19 (月) 第2回税制委員会 [名古屋栄ビル]
- 20 (火) 長野県との懇談会・懇親会 [ホテル国際21(長野市)]
- 27 (火) 第2回愛知地域会員懇談会・交流会 [名古屋栄ビル]
- 28 (水) 静岡地域会員懇談会・交流会 [ホテルアソシア静岡]

9 September

- 2 (月) 9月度正・副会長会 [名古屋栄ビル]
- 2 (月) 9月度総合政策会議 [名古屋栄ビル]
- 3 (火) 愛知県との懇談会・懇親会 [KKRホテル名古屋]
- 12 (木)～22 (日) 海外経済視察団 [オーストリア、スイス、イタリア]



2025年大阪・関西万博 (EXPO 2025)

2025年4月13日(日)～10月13日(月)開催

公式キャラクター「ミyakumyak」プロフィール

出生地 関西のどこかにある小さな湧水地。
性格 人懐っこいが、おっちょこちょいでよくボカをする。
特技 色々な形に姿を変えられること、雨上がりに虹を見つけること。
好きなこと あらゆる生き物や物事と触れ合うこと。

<https://www.expo2025.or.jp/> ©Expo 2025

